

就職活動を行う後輩へのアドバイス

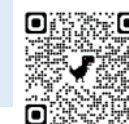


本紙は、毎年、卒業・修了予定者を対象に実施している進路調査の付属アンケートにおいて、学生から寄せられたこれから就職活動を行う後輩へのアドバイスをまとめたものです。

2020年度～2025年度卒業・修了生からのアドバイスを、個人が特定されることのないよう配慮しつつ、できる限り生のコメントを活かす形で掲載しています。皆さんの学生生活や就職活動の参考になれば幸いです。

* 卒業・修了後の進路は皆それぞれ異なります。就職活動の活動時期や内容・考え方等にも個人差があり、正解はありません。記載内容は先輩学生個人の意見ですので、あくまで参考情報にとどめ、主体的に自分にあった活動をしていきましょう。迷いや不安がある時は、早目にキャリア相談や大学の支援窓口等をご活用ください。

https://www.kit.ac.jp/career_index/



京都工芸繊維大学学生支援センターキャリア支援室

INDEX

自己分析・研究・大学生活について 3-4

情報収集全般・OB/OGについて 4-5

業界・職種研究について 5-7

インターンシップについて 7-8

エントリーシート・面接対策について 8-10

大学のキャリア支援の利用について 10-11

留学生へのアドバイス 11-12

その他アドバイス

12-15



自己分析・研究・大学生活について 3-4

自分といかに向き合うかが大切なので、家族や友達からも意見を聞くと良いと思います。先輩や同期など頼れるものは全て頼りましょう。

就活はなるべく早く、学業を怠らないように計画的に行うのがベスト

あんまり焦りすぎず、就活だけでなく研究もしっかりやった方がいい。案外面接では研究内容が聞かれるし、これまでこれだけ研究をやってきたんだという事実が心の支えになる。

悩んでる暇あれば実験するといいと思います。

本音を話せる仲間を作る、何がしたいかを明確化しておく。

早めに選考活動に参加し、自己評価と企業からの他己評価のギャップを埋めておくことをお勧めします。私もそうでしたが、思ったよりも就職活動はうまくいきません。早く気が付けば軌道修正が間に合うかもしれません。

どのタイミングでも自己分析と企業研究は大切

研究もあり、複数の選考が重なることもあるので、スケジュール管理がとても大切です。余裕を持ったスケジュールを立て、時間を有効に使えるようがんばってください。

会社を決める前に、自分のやりたいことや、将来像を明確に決めておくことが大事だと思います。会社の大きさや、安定性も重要ですが、一番は自分のしたいことができ、努力できる環境がある会社かどうかと思います。より不安定で先が見えなくなりつつある時代なので、大企業でも安心できないと思って、自分が一番成長できるだろう企業を志望しました。

学生の時にいろんなことにチャレンジすることが採用に直結します

就職活動は自分を見つめ直す時期だと思うのでしっかりと自己分析を重ね、本当にやりたい仕事を探し、自分はどのように働きたいのかをしっかりと考えてください。自分の将来のために悔いのないように全力で取り組んでください。応援しています。

自己分析が難しいと言う方は、自分がなぜそのような行動をとったのか？Why？に対する問いに答える形で、常日頃から、自身の行動に根拠や理由を持つことで自己分析が容易になると考えています。

就職活動は自分を見つめ直す時期だと思うのでしっかりと自己分析を重ね、本当にやりたい仕事を探し、自分はどのように働きたいのかをしっかりと考えてください。自分の将来のために悔いのないように全力で取り組んでください。応援しています。

就活よりも研究活動を頑張った方が自分のためになります。

情報収集全般・OB/OGについて

BtoB企業は自分から探すのは難しいので、適切なスカウトサービスを利用することをお勧めします

早めに色々な企業を見て、自分が希望する条件を明確に持つことが大事。その上で受ける会社に優先順位をつけて選考を受けるのが良いと思います。

私のように自由応募を考えている学生は、余裕をもって行動するほうが良いと思います。例えば、推薦を考えている学生とはスケジュールが異なるといった部分を考慮することは大切だと思います。もし競争の熾烈な企業や業界、卒業生のいない業界を自由応募などで考えているならば、余裕をもって、情報収集・準備したり、有名な私立の大学の人と情報交換するのも有効だと思います。

研究の妨げにならない程度に余裕のある時期に情報を集めることをお勧めします。直前になって取れる選択肢が少ないことに気づいては希望する職種に就けない可能性があります。

後輩たちへ: 就活の早期化は思った以上に進んでいる。早期化の是非はさておき、早めの行動が余裕に繋がることは間違いないため、「効果的」「効率的」な早期対策を進めるべし。何が効果的か、効率的か、については周りを頼ること。

どんな風に働きたいかを知るのも就活なので、やりたいことが分からなくても就活のイベントには行って良い。むしろ分からない人こそ行くべき。なんとなく思っていた自分の働く姿が、いろんな話を聞く中で具体的になっていくのは楽しいよ。

サークルで知り合った先輩が働いておられる会社だったので、企業の情報や面接のコツを聞きました。

自分の目で見ないと分からないことも多いので、人に聞いたから実際にあたりしてみるのをお勧めします。

業界・職種研究について

企業研究と業界研究をしっかりと、日頃頑張っている研究の話ができるようにしておく和良好的です。

最初から専攻に沿った会社だけに絞るのではなく、幅広い会社を調べ、イベントに参加した上で志望先を決めることをお勧めします

様々な業種の企業を調べると良いと思います。

公務員志望の場合も民間企業を併願しておいたほうが良いと思います。

自分はOB・OGのいない企業を志望しており情報収集に苦労しましたが、企業さんが出している情報をしっかりと読み込むことでOB・OG訪問以上に企業理解をすることができました。早期化が進む中で周りの人と内々定をもらう時期がずれ、焦ることもあると思いますが、あくまで自身のペースでやり続けることが大切でした。頑張ってください！

自分が専門で勉強してきた業界に行く人は多いと思うが、このまま働くのは違うかもしれないと自分が思ったら進路を全く変えてもいいと思います。また、ネームバリューで決めるのではなく自分が精力的に働けそうな相性のいい会社を探すといい。

まじめな研究室ほど就職活動に充てる時間が少なく、苦労すると思うが、その分隙間時間を見つけてはコツコツと企業研究などを進めるべきだと思う。実際には早期選考でほぼ内々定者を取り切ってしまう企業なども存在するのでは始める時期が重要だと学んだ。

早く内定をもらうことがすごいことでも、正しいことでもないです。できるだけたくさんの方と出会い、お話ししてください。自分の知らない世界を知ると将来の可能性が広がります。

就活の軸を早期に固めておく。そのためには様々な業種の会社説明会に参加しておくといい。

メーカーのデザイナー募集の就活はポートフォリオを11月中旬に完成させること。

大学の専攻種類が多様な分、他の芸術大学の生徒に比べて、企業から作品を見に来てスカウトしてもらえる、という可能性・チャンスが少ないです。デザイナーという募集人数が少ない職種である以上、自分に合った職種の募集を見つけることが難しい場合もあるように感じました。募集になくても、採用してもらえるチャンスがあることもあるので、気になった企業には能動的に問い合わせ自分から関わりを持つことをお勧めします。

できるだけ早く合同説明会に参加してください。企業側から参加する人の中に必ず選抜を行う人事部の人もいて、顔合わせをすることがとても有利です。

どんなに大きい会社から内定が貰えても自分が心の底から納得できなければ、いつか後悔することになるので、自分が大切にしたいことを曲げずに芯を持って会社選びをすることが重要。

インターンシップについて

インターンシップや採用選考で落ちると、これまでの自分を否定されているような気持ちになると思います。ですが、企業の人事は人を見るプロです。きっと、自分がもっと輝ける企業が他にあるから、落とされた信じ、前を向きましょう。必ず、皆さんに合う企業はあるはずですよ。

インターンには早く申し込み。研究も今だけだが、色々な企業に行けるのも今だけだ。

これからますます、インターンシップの早期化に伴う就職活動の長期化が予想されます。ぜひ、焦らずにじっくりと自分と向かい合って、これからの進路を決めてください。そうすれば必ず、あなたに合った職業に出会えると思います。

インターンなどで、自分の目で見てから、納得のいく判断をしてください。

絶対行ってください。私は行かずに後悔しました。

インターンシップには是非参加してみたいです。様々な企業の従業員とデスクを並べて仕事を体験できるのは学生の特権です。勉強になる、働くイメージが湧く、学校からQUOカードが貰えるなどなどメリットしかないと思います。研究と就活の両立は大変かと思いますが、楽しみながら頑張ってください

大手企業と中小企業（個人設計事務所やアトリエ）どちらの雰囲気も早い時期からインターンでぜひ知ってみてください。特に個人設計事務所などは常に人が足りてない印象なので、1、2年生からでも体験させてもらえるとと思います。私はとにかくすべての行動が遅く、学業に関しても落ちこぼれていたのが苦勞が絶えませんでした。インターンにて両方の雰囲気を知れてはいたので、結果的には運よく自身の将来のビジョンに合う選択はできました。早くから意識して行動するだけで選択肢の増加のみならず、学生生活の指針の一つが固まるとと思います。就職がすべてではない学部ではありますがどうか選択肢は常に広くお持ちください。

自分はこんなところ行けるわけないと思わず、一度自分の実力は度外視して自分のやりたいことの出来そうな企業にチャレンジする。志望動機としてきちんとしたものがあれば意外とインターンなどに行ける

夏インターンシップには積極的に参加するべきです。早期に就活を終えることでM2で研究活動に集中することができます。

早めに動くこと！先輩を頼ること！採用につながる夏の長期インターンに行くこと！

エントリーシート・面接対策について

ESや面接対策は1人ではしないこと

面接練習やES添削など積極的に活用し、他者評価を大事にするのがよい。

男性が多い業界のため、就活中に性差に関する質問があった（男性の中でやって行けるか、体力は追いつくか、女性の一人暮らしに親御さんは賛成か等）。また、コロナ禍の影響を受けた業界では、ここ数年採用実績がなかったり、私自身の面接も後ろ倒しとなり、なかなか内定が出ず焦る場面もあったが、元々熱望していた業界で、真摯に面接に向き合って良かった。

100回の面接練習よりも1回の面接本番のほうが為になります。

就職支援事業であった、模擬面接の講義はとても有益で、技術面接の際にどう受け答えしたら良いか理解することができました。後輩にはキャリア相談を積極的に利用し、ESを客観的に添削してもらうことをぜひお勧めしたいです。

早めにESを完成させると、面接対策に時間を多く割くことができ、有利になる。

面接の際は事前に入ることができる範囲で実際の現場に行き、当日ここで時間が来るまで過ごすといったことまで決めておくと、余計な緊張をせずに済みます。また、第一志望が上手くいかなかった場合であっても、調べ尽くしたと認めても意外と自分の行きたいと感じるところが残っていたりするので、少し休んだりしてもいいですが、諦めないでください。私は諦めなかったお陰で最終的に、より行きたいと思うところを見つけられ、かつ内定をいただけました。

変わっていると言われている人たち、ESでも変わった文章を書くかもしれないので、誰かに添削してもらうことを1つの案にしてほしい。

ポートフォリオ作成、既存作品のブラッシュアップは早めに行きましょう。

友達と企業説明会に行ったり、先輩にES添削を頼むなど、周りの人を巻き込んで就活すると精神的に楽でした。無理しすぎずがんばってください！

オンラインであることを活かして第一希望の企業だけでなく、その企業と同じ業界の企業の面接も併せて受けることでより業界の理解が深まり、さらに比較することで説得力も増すと思うのでどんどん面接をして大丈夫だと感じました。

自分の場合話し方を指摘されることが多くて就職活動が長引いてしまった。また面接練習はマイナビ等で行ったが結局数をこなす必要があった。

面接に落ちても「自分とは合わなかった」以外考える必要は無いと思います。

大学のキャリア支援の利用について

就活中には気づきませんでした。就活が終わっても悩みや不安が尽きることはありません。私も実際、就活に区切りをつけた後も就職に対して様々な悩みを抱えてきました。しかしそれは就活の失敗でも自身の失態でもなく、社会に出て初めての環境や人間関係に飛び込むという大きな変化を前にするときに生じる、当然の悩みや不安だと思います。就活を支援してくれた人への相談や大学のカウンセリングなど、受けられる支援を全て使い、不安と共存する道を探ってください。

キャリア相談では、専門の相談員の方に一对一で面接練習やエントリーシートを見ていただくことができ助かりました。学部4回生で周りは院進する人が多い環境で、キャリア相談は就職について相談できる唯一の場所だったので就活がうまくいかないときや思い詰めてしまった時の支えになりました。

自分がなにをしたいかを精査する。そのためにインターンシップには積極的に参加する。学校推薦や教授推薦など、大学の協力を得ながら就職活動をすると、希望の企業の選考で有利になることが多いので、利用することをお勧めする。

時期によっては予約取れないがちなので、まず予約しましょう

大学の就職支援を最大限に利用してください。

就職活動が本格化してくる12月が近づいてくると面接練習やES添削でキャリアセンターの講師の予約がとれなくなってくるので、早めに準備しておいた方がいい

理系の皆さんはどんどんと学内イベントに参加してほしい。ただ、教員としてのキャリアパスや、文系としてのキャリアパスは自分で取捨選択していかなければならない。

キャリア相談の人は的確なアドバイスを貰える。自分で完璧な履歴書だと思っても一回行った方がいい。

様々な媒体で様々なアドバイスを受けることができると思うが、最終的には自分の言葉で自分の考えをちゃんと伝えられるかが大切だと思います。就活支援を頼るのは良いけれど依存はしないように。集団面接でありきたりで無難な答えのみを返していた人は次の試験には残っていませんでした。

キャリアセンターにとっても助けていただきました。1人で悩まず利用することをお勧めします。

とにかく人の手を頼ることが大事だと思います。独りよがりにならずに、先輩や、進路指導員の先生や、家族や、キャリアセンターを利用すること等をして、いろんな人の意見を聞いて抱え込まないでください。

大学の就職支援はしっかり活用した方が心の不安が取り除けて就活に集中できると思います。少なからず自分はそうしなかったのでメンタルにかなりダメージがありました。

留学生へのアドバイス

try to find companies that doesn't require Japanese language

日本での就活タイミングをよく把握することがとても大事です。いつまで、何を準備しないといけないのか。業界、企業の規模によって、応募する期間が異なることに配慮して、就活のスケジュールを取り込む必要がある。

If you are an international student and not yet fluent in Japanese, you should start learning it. It doesn't have to be perfect, as many companies value your willingness to learn the language. Even a basic understanding can be very helpful during the job-hunting process.

外国人として日本企業に就職するのは難しいが、多くの準備をすれば可能だと思います。

Japanese language skills are essential to keep up with the available information for job hunting, especially in companies. I missed many opportunities because I cannot speak Japanese. But, since I came on a scholarship with limited time, there was no time to spare to improve my Japanese.

For advice for students, I believe it is better to prepare in the early stage and determine clearly the career target to avoid getting lost

その他アドバイス

元々院進するつもりで合格もいただいていたのでインターンの経験はなく、就活の準備もしていませんでした。諸事情あって3月から就活を開始し、3か月で無事、希望する大手の会社に内定をいただけました。遅くても何とかあります。諦めず、焦りすぎて心が壊れる事のないようお気を付けください。

思い込みで「自分にはこの職種が向いているだろう」と動いてしまうと多くの機会を逃してしまうので、視野は広げて就活をしてください。ポートフォリオが必要な職種のためにも、ポートフォリオ制作は早い段階から都度進めていきましょう。

広い意味で大学を無視して積極行動を起こすといいです。

自分のペースで進め、気持ちに余裕を持って行うことが一番大切なことだと思いました。

就職活動は自分自身と向き合う期間が長く続くので、息が詰まるような苦しい時期もあると思います。できるだけ背伸びせず、志望業界の方と話せる面接を楽しみにするくらいの自然体な姿勢で臨むことが大事なのではないかなというのが今の私の思うところです。

乗り遅れないこと。積極的であること。

いい結果がでなくてもめげずに続けることが一番重要だと感めました。

学校推薦は有効活用しましょう。

後輩へのアドバイスですが。もしエントリーの時期を自分で調整できるのであれば、事前に志望する業界のすべての企業を、個人の好み、通勤距離、自分なりに評価した難易度などを基準にして優先順位をつけておくとよいでしょう。そして、最も行きたい（＝最も難易度が高い）企業群のうち、上位3分の1より少し下あたりから順に応募していきます。できるだけ多く面接まで進むことで、経験や自信をより多く積み重ねることができます。ある程度リズムをつかめたら、最も志望度の高い上位3分の1の企業に挑戦するとよいでしょう。

自分の幸せとは何かを定義すること。

面接は堂々と、ゆっくり落ち着いて話すこと。

少子化によって、大学教員として研究を続ける環境を得ることが厳しくなっていますが、ぜひチャレンジして欲しいと思います

焦らないことと自身の専門分野以外にも目を向けると良いでしょう

周りの人の手を借り、仲間と協力しながら取り組んで欲しいと思います。また思う様な結果が得られず、悩む事、自分や就活が嫌になる時もあると思います。その様な時は、選考を振り返る事は重要ですが、企業との相性が悪かったと割り切る事も大事だと思います。

頑張りすぎてしんどくなったら休もう

自分の人生がかかっているので、とにかく根気よくやりましょう！恐らく私は誰よりも長い1年1ヶ月の期間就活をしました。内定も複数ありましたが、私自身が納得出来る形を求めて続けてきたことを誇りに思っています。

落ちてもすぐに行動する。落ち込まない。

人事を尽くして天命を待つ。結果は運に左右される部分もあるので、自分にやれることを最大限やりきることが一番後悔がないと思います。

友人と互いに協力しながらも、友人の就職活動に対する考えや結果に惑わされず、自分の意思で就職先を決定してほしい。

大学院進学希望でも学部3回生から就活に触れておくべきだと思いました。

方向性が定まっていなくても、行動を起こしているうちに自分なりの価値観や興味のあることが生まれてくると思うので、重く考えすぎないくらいがちょうどいいです！

公務員試験の勉強は、早めに始めましょう。

院に進むかどうか悩んでいる人は一応春に就活しておいた方がいい。

後悔のない就職活動ができることがベストではありますが、万が一上手くいかなくもその先どうにかなると思います。一度失敗したら2度と先はない、などとプレッシャーを受けすぎると心身ともにまいてしまうこともあると思いますので、重く感じすぎずにどうか活動を続けていってほしいです。

研究が嫌な奴ほど就活頑張れ。閉鎖的空間で上手くやるより、社会で上手くやれる人間の方がずっとかっこいいという強気で当たるべき。その分、自分の研究を話すことができるようになること。実験のうまさとは話す上手さは相関関係がない。面接対策はリハーサルも大事だが、雑誌会などでどのようにすれば相手に話が伝わるかを考え抜くこと、正直これだけでESと面接は怖くなくなった。良くない話かもしれないが、状況次第では就活が心の頼りになる時もある。要は就活はやれば不安じゃなくなる。



